

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日: 令和4年 10月 31日

事業所名: にこにこゆうゆう

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	限られた環境の中で十分な活動が行えるように、発達年齢に分け、少数のグループで分かれて療育を行っています。特に運動面は、のびのびと体を動かせるよう環境を分けて整えています。また、個別室も使用しながら、集中しやすい環境を作っています。	<ul style="list-style-type: none"> ・「はい」多数。 ・「わからない」「どちらともいえない」若干名。 ・見学した時に人数に合った広さだと思った。 ・コロナなので日常がわかりにくい。 ・欲を言えばもっと広いといい。 	今後も活動内容によって、チームを分ける等の工夫を行い、スペースを考え活動が十分に行えるようにしていきます。
	2 職員の適切な配置	指定基準以上の保育士又は指導員で療育を行っています。	<ul style="list-style-type: none"> ・「はい」多数。 ・「わからない」若干名。 	引き続き、今後も余裕のある職員配置の中でお子様としっかりと関わることが出来るようにします。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	室内の構造状導線を作る事が難しい為、パーテーションなどの仕切りを利用して導線を作り順路を示しています。個々に応じて支援カードを作り必要に応じて提示し、視覚的にもわかりやすい手立てを用意しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・「はい」多数。 ・「わからない」若干名。 ・絵カードを表示してくれたり、子どもが確認しやすい位置に設置してくれているのでわかりやすい。 	今後も継続して、パーテーションで区切るなどし、次に移動する場所が分かりやすくなるようにしていきます。個々に応じての絵カードの提示などもあわせて行っていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、営業開始時、終了時に掃除と衛生点検を行っています(送迎車も同様)。お子様の活動に応じて机やイスを配置して活動に合わせた空間を事前に確保しています。 ・施設内や教材、送迎車にコロナウイルスを含むウイルスや菌を除去する光触媒を施工しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「はい」多数。 ・「わからない」「どちらともいえない」若干名。 ・欲を言えばもう少しキレイだといい。 	掃除はもちろんの事、活動の妨げにならないよう、中身の見えないような収納箱を使用したり、活動中は療育室から玩具を片付けるようにし、空間の確保も同時に行っていきます。

業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	お子様の降所後にミーティングを行い、その中で個々の引き継ぎ、支援内容の振り返りを全スタッフで共有し支援内容の確認と統一を行っています。		引き続き継続し、支援の統一や、様々な視点から適切な支援を考えるようにしていきます。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	外部評価は受けていません。		必要に応じて検討します。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	社内、社外（現在はオンライン）の研修を実施しています。		今後も継続して資質の向上を目指します。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	契約時と、その後療育が始まりお子様も環境に慣れてきた頃に聞き取りや面談等を取り入れ、保護者様のニーズを再確認し、支援計画を作成しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・「はい」多数。 ・「わからない」「どちらともいえない」若干名。 ・子どもの特性をよく理解して下さっていて、的確な支援計画を作成されている。 	今後もお子様や保護者様のニーズ等をもとに客観的、多面的な視点で作成、変更していきます。あわせて保護者様には聞き取りから支援計画に反映させて頂く事をお伝えしていきます。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	それぞれの状況に合わせ、個別の療育、又は集団の療育が必要であると判断した場合には、割合を考慮し、組み合わせで支援計画を作成しています。		引き続き集団や個別でのご様子を見ながら、お子様の発達に応じた支援計画を作成、または変更していきます。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	保護者様からの情報に加え、日常の活動の中でのお子様の発達等から必要な項目をあげ、具体的に支援内容を記載しています。		今後も引き続き、具体的な項目や支援内容の記載に努めます。
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	職員ミーティング等で支援計画に基づき、随時振り返りを行いながら現状に応じた支援を実施しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・「はい」多数。 ・「わからない」若干名。 	今後も随時振り返りをしながら、支援計画に沿った支援の実施を行っていきます。変更や追加した療育内容については保護者様にお伝えしていくようにする。

5	チーム全体での活動プログラムの立案	各職員で立案したプログラムを全職員で再度確認し、より良いプログラムになるよう、必要に応じて都度改善を行っています。		今後も継続してお子様の発達に合わせた活動内容をチーム全体で組み立てていきます。
6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	送迎時の視診や体調確認に加え、長期の休み期間の様子を保護者様より聞き取りを行い、お子様の様子の変化に対応出来る様、職員で情報を共有しています。また、情緒の安定を図りながら療育での生活習慣を取り戻せるようにしています。	<ul style="list-style-type: none"> ・皆様より「はい」という評価。 ・様々な活動をして下さっている。 ・毎月、予定表をいただけるので、活動内容が分かりやすい。 ・いつも楽しいイベントをして頂いています。 ・様々な体験をさせて頂いており、子どもも喜んでいる。 ・粗大、微細運動、感覚あそびや音楽療法など、日々色々なプログラムを提供して下さっている。 	今後も継続していきます。
7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	同じ内容の活動でも、お子様の様子を見て、難易度を変えたり、達成感を感じられるようにしたり、季節を感じられるような活動を取り入れたりするなどの工夫をしています。		今後も引き続き固定化しないよう工夫をしていき、お子様の、達成感へと繋げ、経験の幅を広げていきます。
8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前に全職員でミーティングを行い、お子様の個々の状態の確認や支援の統一、職員の配置、支援の仕方等を再確認する時間を設けています。		今後も共有する時間での内容等の確認と、支援の統一を行います。
9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後のミーティングで、お子様一人ずつの支援内容を振り返り、口頭や記録で共通理解や、職員の動きの改善に努めています。		今後も記録に残し、再度確認できるようにしていきます。
10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	支援終了後のミーティングで共有した内容を改善案も含めて必ず記録に残しています。文章でいつでも確認できるようにし、全職員が継続して実施出来るようにしています。		今後も継続していきます。

	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	3ヶ月毎にお子様の様子をフィードバックとして作成し保護者様にお渡し、ご意見をいただいています。又、必要に応じてケース会議やモニタリング等を行い適切な支援が行えるように見直しています。		今後も引き続き、フィードバックを作成し、保護者様からのご意見を頂き、必要に応じて支援計画の見直しを行います。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	サービス担当者会議の開催の依頼はほとんどありませんが、開催された時には適切な職員が参画しています。また、保護者様の同意のもと電話で情報共有を行っています。		障害児相談事業所によるサービス担当者会議が実施される場合は参加し支援内容の共有を行います。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在対象のお子様はいません。		必要に応じて支援の実施を検討します。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在対象のお子様はいません。		必要に応じて支援の実施を検討します。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	並行通園のお子様は、保護者様からの聞き取りや、保護者様の同意のもと並行通園先に伺い(コロナ対策を行い)情報共有を行っています。		今後も積極的に行いたいと思います。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	現在対象のお子様はいません。		必要に応じて各機関と連携を取りながら情報を提供します。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	児童発達支援センターや子ども支援センターから案内を頂いています。		<ul style="list-style-type: none"> ・現在は新型コロナウイルスの影響により研修に参加できていませんが今後も積極的に行いたいと思います。 ・電話などでの連携は随時行っています。

7	<p>児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供</p>	<p>事業所としては特に実施していません。</p>	<p>・「はい」少数、「わからない」という評価が多数、また「いいえ」という評価もあり。 ・コロナ禍なので行われているのか、もともとないのか不明。 ・コロナの影響で活動の制限がかかっているため、なかなか機会がない。</p>	<p>必要性について保護者様のご意見を集約し、その思いを踏まえ検討します。</p>
8	<p>事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営</p>	<p>事業所としての実施はありませんが、コロナ感染防止の徹底を行った上で、同グループの高齢者さんとの交流があったり、地域の行事に招待して頂いた際には積極的に参加させて頂いています。</p>		<p>事業所として実施の予定はありませんが、必要に応じて実施を検討します。</p>
1	<p>支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明</p>	<p>利用見学時や契約時に支援の内容や利用者負担について説明し、契約時に重要事項に基づいて利用者負担等の説明を行っています。</p>	<p>・皆様より「はい」という評価。 ・一対一でしっかりと時間をかけて話してくれた。</p>	<p>引き続きお子様の様子と支援の内容を具体的にお伝えし、契約時には利用者負担等についての説明も行います。</p>
2	<p>児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明</p>	<p>現状のお子様の様子や課題を伝えながら計画書を提示し、保護者様と一緒に確認をしながら(コロナ感染拡大防止の為電話の場合も含む)説明を行っています。</p>	<p>・皆様より「はい」という評価。 ・支援内容について丁寧に聞き取りして下さり、計画を立てて頂いている。</p>	<p>引き続き、丁寧に分かりやすい説明を心がけていきます。又、ご家庭でも行える支援内容も同時に提案できるようにしていきます。</p>
3	<p>保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施</p>	<p>ペアレント・トレーニングを行う機会は設けておりません。面談での相談や見学時にお子様の様子や支援員の関わりを見て頂きながら口頭で説明したり、ご相談に対して個別でお伝えさせて頂いています。</p>	<p>・「はい」多数。 ・「いいえ」「わからない」「どちらともいえない」若干名。</p>	<p>ペアレントトレーニングという形での実施はしていませんが、日常の中での相談や、面談等の際にご自宅が無理のない範囲で行って頂ける支援や、家庭と家庭以外でのお子様様様の違い等もお伝えし、保護者様とお子様様の関わり、また、保護者様の不安要素を少しでも減らしていく事が出来ればと思っています。</p>

保護者への説明責・連携支援

4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	日々の連絡帳やお電話、送迎時にお子様の成長やご様子、課題を共有するようにしています。	<ul style="list-style-type: none"> ・皆様より「はい」という評価。 ・毎日、今日何をしたか教えてくれる。 	こちらが伝えたい事だけを伝えていないか、保護者様が必要とされている情報が伝えられているかを都度確認し、課題や状況の共通理解へと努めます。
5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	送迎時や連絡帳、電話を通しての相談や、事業所内相談支援を行っております。発達検査の結果などからも状況に合わせて面談の実施や、各専門職からの助言も行っています。	<ul style="list-style-type: none"> ・皆様より「はい」という評価。 ・面談は特に時間を設けてはいないが、連絡帳や送迎時に合わせてお話している。 	今後も保護者様が悩みを伝えやすくなるような環境と、保護者様自身の情緒面の部分も配慮し、適切な対応を行っていきたいと思います。
6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	通常は年に3回は保護者会を開いており、保護者様同士の情報の共有の場が持てるようにしています。また、月に1回の親子活動を通して、保護者様同士の関わりの場としてもご利用して頂けるようにしていますが、昨年度に引き続き今年度もコロナ感染拡大防止の為、数回しか実施できていない期間もあります。今後様子を見ながらはなりますが、随時開始を予定しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・皆様より「はい」という評価。 ・参加していないもの等は「わからない」にしている。 ・コロナ禍なので行われていないのかももとないのか不明。 	今後も引き続き、保護者会を開催し連携支援を行います。又、親子活動を行い親と子の関わりの中での困り感が共有できる機会を増やしていくと共に、保護者様同士で関わっていただける時間を確保できるように検討していきたいと思います。
7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情解決の窓口や責任者を契約時に説明し、事業所玄関にもフローチャートを設置しています。苦情等があった場合には迅速に対応しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・「はい」多数。 ・「わからない」若干名。 ・今のところ、全く苦情はない。もしあったとしても、誠実に対応してもらえと思う。 ・これまで苦情等について周知が無かったため、情報共有がなされているのか、判断できかねる。 	今後も要望に対し迅速に対応します。苦情があった場合には原因を追究し、同じことを繰り返さないように職員間での共有をしっかりと行い、体制を整えていきます。
8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	視覚的な支援等を取り入れ、お子様の状況に合わせた情報伝達のための配慮をしています。	<ul style="list-style-type: none"> ・「はい」多数。 ・「どちらともいえない」若干名。 ・連絡帳にいつもお返事をくれる。 	今後も意志の疎通や情報伝達が適切に行えるように配慮し、取り入れられている支援に関する情報等を保護者様に随時お伝えしていきたいと思います。

	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報について子どもや保護者への発信	月に一回通信を発行し、活動内容や行事について掲載をしています。	<ul style="list-style-type: none"> ・皆様より「はい」という評価。 ・月初に配布される予定表通信、とても助かっている。 ・毎月、行事予定の紙を頂いている。毎日違うイベントをしております。 	引き続き月1回の通信を発行すると共に、行事を行う際には別紙案内に掲載し、予定がわかるようにします。又、連絡などについては随時書面等でお伝えしていきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報や個人ファイル等は施錠した保管庫に管理し、取り扱いには十分注意しています。職員全員が個人情報に関する研修を受けています。	<ul style="list-style-type: none"> ・「はい」多数。 ・「わからない」「どちらともいえない」若干名。 	今後も定期的に職員への研修や注意喚起を行う事で、個人情報の取り扱いに対する意識を高めます。
非常時等	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルを作成し、玄関を入った所定の場所に設置し、保護者様にもいつでも観覧して頂けるようにしています。親子活動などでここにこゆうゆうへお越しの際には手に取って見ていただけるようにしています。職員は定期的に関覧し確認をしています。	<ul style="list-style-type: none"> ・皆様より「はい」という評価。 ・用紙をいただいているので分かりやすい。 	保護者会や、契約時等に保護者様に閲覧場所を伝えるようにしています。周知徹底できていないところもある為、支援計画に所定の場所の記載を行います。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	消防署に届け出をした訓練を年に2回行っています。現状が分かるようにリストを提示し訓練を行っています。実施日に利用していないお子様が訓練に参加出来ないため、毎日の療育の中で、一つの場所に集まる練習をしています。	<ul style="list-style-type: none"> ・皆様より「はい」という評価。 ・毎月きちんと訓練があり、安心している。 	訓練の日程のお知らせを事前に行い、訓練時の様子や内容を分かるように保護者会や連絡帳等でも伝えていくようにします。年2回の訓練だけではなく、月に一回行うようにし、一人でも多くのお子様に参加してもらえようと考えています。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	人権擁護・虐待防止マニュアルに基づき、年に1回以上研修を行っています。		今後も継続して研修を行い、人権擁護・虐待防止への意識向上に努めます。

の 対 応	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	戸外歩行時に突発的な飛び出しや命の危険があると予想されるお子様に対して、職員間で情報を共有すると共に、保護者様への説明と支援計画に記載し同意を得ています。		職員間の情報共有を行い、やむを得ない状況の共通理解に努めます。今後も保護者様への説明を丁寧に行うと共に支援計画への記載と同意を行います。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アセスメント時に保護者様に聞き取りを行い、アレルギー除去メニューで対応しています。又、台所にアレルギー表を作成し、名前と詳細を記入して全員が周知、確認出来るようにしています。さらに、昼食時のお盆の上にも個人名とアレルギーの食材を明記し、おかわりをする際に誤って入れてしまわないよう、対応しています。		今後もアレルギー反応、対応について定期的に保護者様に確認を行い、個別に対応していきます。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	その都度ヒヤリハットを作成し、職員内で共有し、同じことを繰り返さないように改善方法を検討しています。ファイルをいつでも共有閲覧できる場所に保管しています。		今後も引き続き、書面と会議で事例を共有し再発防止に努めます。